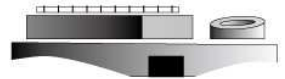


博物館だより



足寄動物化石博物館
No. 101 2009年2月

足寄の自然

探鳥会 —北へ向かう鳥たち—

春の探鳥会を開催いたします。例年よりすこし早めに実施します。今年はどんな鳥が、どんな旅立ちを見せるか。たのしみですね。



日時 4月5日(日曜日)
午前8時～10時ころまで

集合 JAあしよろ資材店舗前
7時50分集合

観察場所

下足寄湖北東岸
(仙美里ダム湖)



持ち物・服装

防寒具や雨具
長靴←かならず
筆記具
双眼鏡、フィールド
カメラ、スコープ
野鳥の本

講師

花田行博さん
(日本野鳥の会理事)
をお願いします。

集合場所は、足寄交番前交差点を東に、足寄小学校校庭南側を経て、一時停止の交差点を直進、小さな坂をおりて右折(地図のやや大きな矢印)、共栄橋にむかってください。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

No. 101

2009年2月25日発行

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101

Eメール staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

ホームページ http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

行事報告



クジラ解剖会

化石との研比較究のためにおこなっているミンククジラの解剖を公開，説明しました。

「皮膚はつるつる！」
「脳は以外と小さい」
「なんで口の中にヒゲができた？」など，
熱心な質問がだされました。

化石工房

デスモスチルス類のレプリカを作製中

化石工房「フォストリーあしよる」のスタッフは，デスモスチルスのレプリカ作製におわれています。

写真に写っているのは，青森県で見つかったパレオパラドキシアの寛骨（腰の骨）。青森県立郷土館の標本です。並行して，デスモスチルス歌登標本の全身のレプリカづくりを進めています。これは経済産業総合研究所地質標本館に納めるものです。



行事予告

5月10日は「地質の日」

5月10日は，明治9年（1876），北海道開拓使の技師だったライマンらによって日本で初めての広域的な地質図，200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日です。

当館でも町内の地質を知る行事を企画します。どこで？ ……詳しくは，4月号で。

休館日 || 3月 3日 10日 17日 24日 31日の火曜日

博物館の動き 3月 （館の行事や職員の動き，来館団体，など）

9日 帯広畜産大学理科教育法受講のみなさん

25日 足寄町青年サミットのみなさん